

大阪府北部コミュニティカレッジ 12期ミュージアムへ行こう3
第3回大阪市立東洋陶磁美術館へ行こうーリニューアルオープン記念特別展示
「シン・東洋陶磁ーMOCO コレクション」展

<事前学習>

日時:2024年6月18日(火)10:00~12:00

場所:高槻市センター街ビル3F

講師:大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長 小林仁先生

内容:

1. 立地ーリニューアル時、赤いレンガが多く出てきた。此処は1896年本格的西洋建築の大阪ホテルが建設されたが1924年に全焼した跡地である。
2. 展示陶磁ー国宝2件、重要文化財13件。中国陶磁144件、韓国陶磁793件、日本陶磁2件、その他26件が、住友グループ他より大阪市に寄贈された。当時の評価額は151億9175万円であった。
 - ① 1991年~1994年安宅英一氏コレクション、②李秉昌(イ・ビョンチャン)コレクション③他、沖正一郎コレクション、入江正信コレクション、堀尾幹雄コレクション、高田早苗コレクションが寄贈された。
3. 展示の特色ー陶磁器と光①自然彩光展示、自然光に近い紫励起 LED 照明②地震から守る免震台③回転する名品の回転台④展示の名脇役のスエード生地⑤作品を間近でゆったり鑑賞できる脇置台
4. 展示構成ー「シン・東洋陶磁ーMOCO(The Museum of Oriental Ceramics, Osaka)展の見どころ
 - (1) 天下無敵ーザ・ベスト MOCO コレクション;童女形(童子形水滴)(2) 翡色幽玄ー安宅コレクション韓国陶磁;白磁壺(3) 粉青尚白ー安宅コレクション韓国陶磁ー青花辰砂蓮花文壺(安宅英一氏寄贈)(4) 清廉尚白ー安宅コレクション韓国陶磁ー加彩婦女俑、加彩宮女俑(5) 優艶質朴ー国宝;油滴天目茶碗(6) 陶魂無比ー日本陶磁コレクションー飛青磁花生(7) 陶花爛漫ー李秉昌コレクションー中国陶磁ー天青無窮(8) 喜土愛楽ー現代陶芸コレクション(9) 明器幽遠ー安宅コレクションー中国陶磁(10) 天青無窮ー安宅コレクションー中国陶磁(11) 皇帝万歳ー安宅コレクションー中国陶磁(12) 百鼻繚乱ー沖正一郎コレクションー鼻煙壺(13) 泥土不滅ー現代陶芸コレクション
5. おわりにーコレクションの価値と魅力を高めて次世代につなげる。



<鑑賞会>

日時:2024年6月25日(火)10:00~

場所:大阪市立東洋陶磁美術館(大阪市北区中之島 1-1-26

Tel06-6223-0055)

昭和57年11月に開館した。

中之島公園にあり、周囲には大阪市役所、中央公会堂、こどもの本の森中之島などがある。

京阪中之島線「なにわ橋」駅1号出口からすぐ。



展示:シン・東洋陶磁コレクションー東洋陶磁のコレクションとしては世界第一級の質と量を誇り、2 件の「国宝」、13 件の重要文化財を含んでいる。中国、韓国、日本の約 400 件の陶磁は展示されている。

「シン」には①「新」たなミュージアムへの歩み始める②「真」の美しさとの出会い③「心」がワクワクする鑑賞体験という3つの願いが込められている。

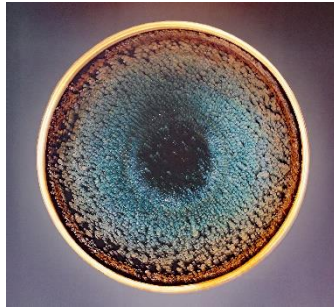
1. 国宝

①油滴天目茶磁

・南宋時代(12～13 世紀)

建窯(安宅コレクション)

・体感:実物のかたちそっくりの
ハンドオンコントローラーを
動かし、4K モニターに投影。



②飛青磁花生

・元時代・14 世紀龍泉窯

(安宅コレクション)

鉄班を散らした青磁は日本では「飛青磁」と呼ばれている。
中国では「玉壺春」の名で知られている。

本作は鴻池家伝来品で、伝世する飛青磁花生の最高傑作といえる。

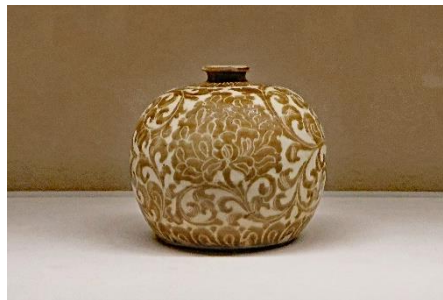


2. 重要文化財

①中国陶磁



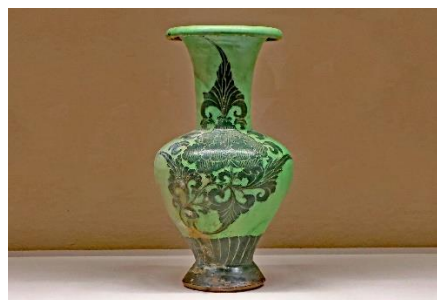
白磁刻花蓮花文洗 (11～12 世紀)
定窯 (安宅コレクション)



白磁銹花牡丹唐草文瓶 (12 世紀)
定窯 (安宅コレクション)



青磁刻花牡丹唐草文瓶(11～世紀)
磁州窯 (安宅コレクション)



緑釉黒花牡丹文瓶(12 世紀)
磁州窯 (安宅コレクション)



木葉天目茶碗 (12～13 世紀)
吉州窯 (安宅コレクション)



青磁鳳凰耳花生 (13 世紀)
龍泉窯 (安宅コレクション)



青花蓮池漁藻文壺(14世紀)
景德鎮窯(安宅コレクション)



青花牡丹唐草文盤(14世紀)
景德鎮窯(安宅コレクション)



青花枇杷鳥文盤(15世紀)
景德鎮窯(安宅コレクション)



法花花鳥文壺(15世紀)
(安宅コレクション)



瑠璃地白花牡丹文盤(15世紀)
景德鎮(安宅コレクション)

②韓国陶磁



青磁象嵌童子宝相唐草文水注
(12~13世紀)(安宅コレクション)

③日本陶磁



三彩壺(8世紀)
(安宅コレクション)

3. 重要美術品

①中国陶磁



三彩貼花宝相華文壺(7~8世紀)
きょう義窯(安宅コレクション)

②韓国陶磁



青磁は白堆草花文水柱(12世紀)
高麗(安宅コレクション)



青磁印花夔龍文方形香炉
(12世紀)(安宅コレクション)



青磁陰刻蓮花文三耳壺
(12世紀)(安宅コレクション)



青磁彫刻童女形水滴
(12世紀)(安宅コレクション)



粉青象嵌蓮花文角杯
(15世紀)(李秉昌博士)

5. その他

①中国陶磁



加彩婦女俑
(8世紀)(安宅コレクション)



青磁水仙盆
汝窯(11世紀)(安宅コレクション)



青花瓜文碗
景德鎮(15世紀)(安宅コレクション)



青花黃蜀葵文碗
景德鎮(15世紀)(安宅コレクション)



青花鳳凰文盤
景德鎮(15世紀)(安宅コレクション)

②韓国陶磁



粉青粉引鉢
(15世紀)(安宅コレクション)



鉄砂梅鶻文壺
(17世紀)(李秉昌博士)



青花辰砂蓮花文壺
(18世紀)(安宅英一)

③日本陶磁



青花草花文面取瓶
(18世紀)(安宅コレクション)



色絵牡丹椿文八角壺
肥前有田焼(17世紀)

展示物一覧は大阪市立東洋陶磁美術館の作品リストを参照してください。

6. 終わりに

大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長小林仁先生に事前学習講義をして頂いていたので、「シン・東洋陶磁」がよく理解できました。小林仁先生ありがとうございました。

自然彩光展示、回転式展示台、免震展示台などの展示方式の工夫がなされているのには感心した。国宝2件、重要文化財13件を始めとして、安宅コレクション、李秉昌コレクションをはじめ東洋の約400点の陶磁が鑑賞できる貴重な美術館が大阪市にあることは、関西人の誇りである。よくぞこれだけの陶磁を残していたことに感謝する。

以上